

平成18年2月3日

1号機原子炉建屋補機冷却系熱交換器の不具合について

当所1号機は定格出力で運転中のところ、平成18年1月18日頃より原子炉建屋補機冷却系*の構成機器である冷却水タンクの水位に低下傾向が確認されたため調査を行っておりましたが、2月2日、当該系統に3台ある熱交換器（1台は予備機）のうち、使用していた熱交換器（A）を予備機に切り替えたところ、当該タンク水位の低下傾向は見られなくなりました。

このことから、原因は当該系統内の冷却水（純水）が、熱交換器（A）内部で漏えいし海水側へ漏れ出ているものと推定されるため、今後、当該熱交換器の点検補修を実施いたします。

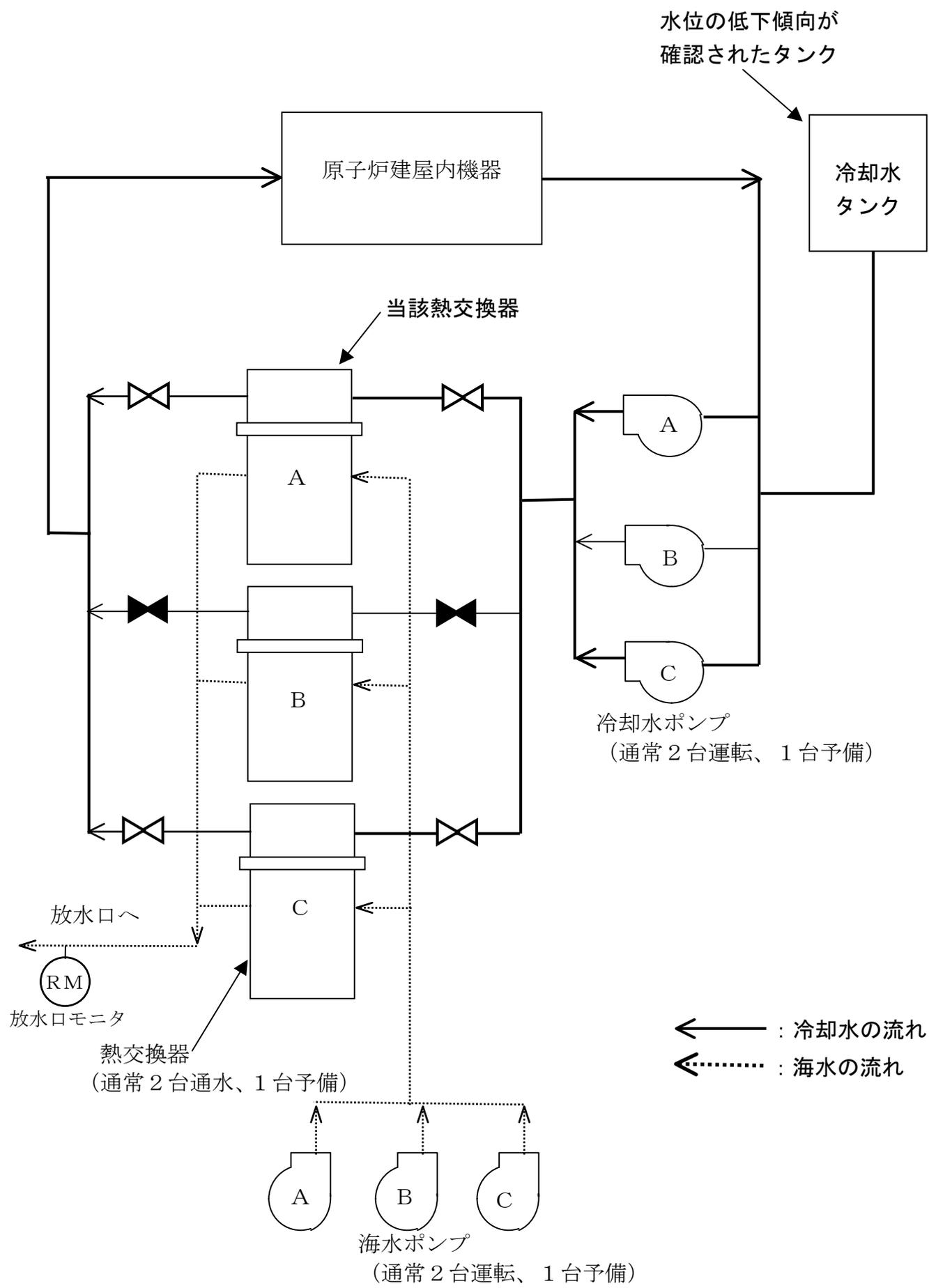
なお、当該系統内の冷却水からは放射能が検出されていないことおよび放水口モニタに変動がないことから、本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 原子炉建屋補機冷却系

原子炉建屋内に設置された機器の冷却のため、海水と熱交換した冷却水（純水）が循環している系統であり、ポンプ、熱交換器、タンクなどで構成されている。

当該冷却水は定期的（1回／週）に放射能を分析しているが、今回の事象に鑑み1月23日からは分析頻度を1回／日とするとともに、当該系統に関する放射線モニタの監視頻度を増やしていた。



1号機原子炉建屋補機冷却系系統概略図